

項目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	NO	3-5
----	------------------	----	-----

事業名	やまがた緑環境税広報啓発事業		
事業費	873 千円	担当部局課	総務部税政課

1 目的

やまがた緑環境税の制度や、やまがた緑環境税基金を活用した事業の必要性及び重要性を啓発する。

2 事業概要

(1) 情報誌「mamaid（マーメイド）」にやまがた緑環境税に関する広告を掲載した。

広告掲載誌：mamaid（マーメイド）（株式会社アサヒマーケティング 発行）
 広告掲載号：2018年10月号（平成30年9月20日発行）
 広告スペース：裏表紙（縦267mm×横200mm）
 発行部数：50,000部

(2) ラジospottCMでやまがた緑環境税の広報を行った。

放送期間：平成30年8月5日（日）～8月11日（土）〔1週間〕
 放送局：県内民放ラジオ局 2社（YBC・FM山形）
 放送回数：各社25本 計50本
 放送時間帯：通勤時間帯が中心 1本あたり20秒程度

3 成果と課題

【成果】

読者の多くが子育て世代である情報誌「mamaid（マーメイド）」に広告を掲載し、本税の認知度が低い若年層（20～30代）及び女性への重点的な周知を行い、県内民放ラジオ局2社でラジオCMを放送し、広く県民に対して広報を行うことができた。

【課題・対応】

引き続き、本税の認知度向上に向けて、認知度の低い若年層（20～30代）及び女性を主対象として広く県民への広報に取り組んでいく必要がある。

やまがた緑環境税を活用した取組み

【平成30年度やまがた緑環境税広報啓発事業の取組事例】

やまがた緑環境税広報啓発事業

- (1) やまがた緑環境税について、読者の多くが子育て世代である情報誌「mamaid (マーメイド)」に広告を掲載し、本税の認知度の低い若年層(20~30代)及び女性を主対象として県民に周知を行った。(2018年10月号(平成30年9月20日発行)に掲載)
- (2) やまがた緑環境税について、認知度の向上及び本税の目的とする森林の保全等の事業の効果的な推進を図るため、ラジオスポットの企画、制作及び放送を行った。(平成30年8月5日~11日の1週間)

【参考】「mamaid (マーメイド)」広告原稿

県民みんなで支える

森づくり

山形県

森のホームステイ

県民参加の森づくり

「やまがた木育」体験

県民参加の森づくり

県民みんなで支える森づくり

やまがた緑環境税

荒廃のおそれのある森林の整備や、県民参加による森づくり活動に取り組み、「豊かな水を育む」などの森の働きを守るため、やまがた緑環境税 県民の皆様から広くご負担いただいております。

税額

個人県民税…年1,000円
法人県民税…年2,000円~80,000円
(資本金等の額による)

詳しくは県ホームページをご覧ください [やまがた緑環境税](#)

県民参加の森づくりイベント

楽しい企画が盛りだくさんです！
ご家族等でお気軽にご来場ください！

イベント・森の講座の詳細、お問い合わせ先はこちら
【森づくりカレンダー】▶

開催日時	イベント名	開催場所	内容
10/13 (土) 10/14 (日)	第28回山形県林業まつり	山形県総合運動公園第2南駐車場内特設会場 (天童市)	「やまがた木育」体験コーナー、森のホームステイ 他 森林・林業・木材関係の出展あり
10/21 (日) 11/4 (日)	森づくりリーダー育成講座 秋の講座	山形県遊学の森(金山町)	森を楽しむ講座・自然のものを使う講座、森を巡る講座、「やまがた木育」講座
10/27 (土)	源流の森インタープリター養成講座(専門講座)	山形県源流の森センター(飯豊町)	自然を楽しむ、(ネイチャーゲーム・クラフト) 森で遊ぶ(プロジェクトアドベンチャー)
10/27 (土) 10/28 (日)	やまがた環境展2018	山形ビッグウイング(山形市)	「やまがた木育」体験コーナー、森のホームステイ 他 森林環境関係の出展あり
11/24 (土)	森の案内のためのスキルアップ講座	山形県源流の森センター(飯豊町)	森でつながるインタープリテーション
11/25 (日)	やまがたの森づくり発表会	山形ビッグウイング(山形市)	基調講演、森づくり活動団体による発表 など

項目	豊かなみどりを守り育む意識の醸成	NO	3-6
----	------------------	----	-----

事業名	やまがた緑県民会議		
事業費	437 千円	担当部局課	環境エネルギー部 みどり自然課

1 目的

やまがた緑環境税を活用する施策を適正かつ効果的に進めるため、次の業務を担う外部委員の第三者機関として設置。

- (1) 基金充当事業の効果についての評価、検証
- (2) 施策等の制度・仕組みの点検、見直しに関する協議
- (3) 新たな森づくりの普及啓発の推進 など

また、国の森林環境譲与税の創設に伴う影響と課題の整理を行い、やまがた緑環境税制度全般の点検等を実施する。

2 事業概要

- (1) 森林環境譲与税とやまがた緑環境税の用途等の整理・検討ワーキンググループ会議の開催（第1回：6月28日、第2回：8月10日）

○第1回：6月28日

- ・森林環境譲与税とやまがた緑環境税の用途等の課題の整理

○第2回：8月10日

- ・ハード事業：整備する森林への導入事業の判断方法や判断基準
- ・ソフト事業：やまがた緑環境税を継続して実施する考え方

- (2) 平成29年度税活用事業実績集の県ホームページへの掲載（12月）

- (3) やまがた緑県民会議のあり方の検討（5月～3月）

県内部における部局間調整等を随時実施

- (4) やまがた緑県民会議の開催（3月予定）

- ・平成30年度税活用事業の取組状況及び評価検証
- ・平成31年度税活用事業の概要
- ・森林環境譲与税とやまがた緑環境税の用途等の整理・検討状況の報告

3 成果と課題

【成果】

- ・ワーキンググループを開催し、県民会議で森林環境譲与税創設の課題の検討を行うための論点整理等を行った。
- ・税事業実績について県ホームページに掲載した。

【課題・対応】

- ・引き続き、税事業に係る評価検証の内容の透明性を確保していくうえで、ホームページ上で情報公開していくほか、事業効果や目標の達成状況などについて、多様な広報媒体を通じて情報発信し、県民の理解向上を図っていく。